

市長オンラインふれあいトーク（中町）

日時 令和5年3月19日（日）
午後2時30分～午後3時40分
参加者数 市民12人
市長・事務局

《主な意見・提案等（事前質問）》 □市民の方 ■市長

□知立団地は建設後かなりの年数が経っており、現在は高齢者と外国人が多く占めている様子です。今後どのようになっていくのか市民として気がかりです。また、建物の老朽化に対する市の対応にお金がかかってくるのかどうかなども知りたいです。

■知立団地のある昭和地区におきましては、現在、約6,400人程の方々が住んでいらっしゃいます。そして、その内、日本人の高齢化率が約42%、また、外国人の人口比率が約42%と、ひじょうに特徴的な人口構造となっております。

そうした中、地域の住み良さや魅力を高め、より良い地域にしていくため、地域住民の皆様方と共に、昭和未来会議を平成28年6月からスタートしたところであります。

そして、昭和未来会議をきっかけに、例えば、防災運動会やサッカー交流、また、多国籍の炊き出しなどを行う「昭和☆まもりんピック」の開催や、外国野菜の栽培や農作業や食事会などでの交流、また、多国籍料理を通じた交流などを柱とする「もやいこ農園」、また、無料のギター教室や多国籍バンド活動などの「昭和☆みんなの音楽室♪」の開催など実施してきております。

これからも、より住み良い、楽しい昭和地区にするため、地域の住民の皆様方と共に進めてまいります。

また、URから聞いている内容として、昭和団地は入居率がかなり高いため、取り壊す予定はなく、エレベーターなどをつけるなど整備を続けていくということですのでご安心ください。

□今後知立駅前の開発がさらに進んでいきます。中町のように駅に近い住民に対して、これまでも市担当者による説明会が開催されていましたが、今後もこのような説明会は開催されますか。また、健康推進員として駅周辺の街歩きを予定しているので、その際に職員から話をしてもらいたいです。

■知立駅周辺につきまして、鉄道高架事業や区画整理事業など様々な事業をさせていただいております。

そうした中、市民の皆様方への事業進捗などの情報発信につきましては、「議会への報告」や「広報ちりゅう」、また、「出前講座」や「小学生への説明会」、また、「新聞報道」、そして、「ホームページ」や、「SNS」、また、「まちづくりだより」など、様々な方法で実施してきております。

ちなみに、随時作成し、広報ちりゅうと一緒に各ご家庭にお配りしています「まちづくり

だより」の最新号では、「3月21日に名古屋本線の豊橋方面行きが高架線へ切り替わること」なども掲載させていただきました。

なお、3月25日（土）、26日（日）に、駅前で、そうしたことを記念したイベントなどを行いますので、ぜひお出かけください。このチラシもホームページに掲載されていますので、後ほど、ご覧いただければと思います。

これからも、知立駅周辺事業に対して、多くの皆様方に関心を持っていただけるよう、PRなどをしてまいります。

また、事業の進捗に応じて、改めて説明が必要な場合や、新しい事業を開始する場合には、近隣に住む方々に対して説明会を開催させていただきますので、その際は、多くの皆様方にご参会いただきますようよろしくお願いいたします。

街歩きにつきましては、また日時等をお知らせいただければ、出前講座などにより職員を派遣することも可能かと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

□中町区も高齢化が進んでいます。中町は他の町に比べると、比較的恵まれた買い物環境にいると思いますが、今後増えるであろう買い物に行くにも足がない高齢や買い物難民に対して、ミニバス以外に何か市は対策を考えているのでしょうか。

■買い物に関する課題を解決するため、民間事業者のお力添えもいただきながら進めているところであります。

現在ご紹介できるものとして、移動スーパーがあります。

例えば、「とくし丸」。これは、市内でもかなり様々なところを回ってくださっておりますが、現在のところ周回箇所が一杯一杯で、新たな拠点に行くことは難しいということです。ただし、また余裕が出来れば依頼することができます。

最近では新たに、「はじ丸」という移動スーパーをある業者が始められたということで、こちらは現在のところルートに余裕があるとのことでしたので、ご紹介させていただくことができます。

移動スーパーの活用につきましては、ある地域では、定期的で開催している高齢者サロンの終了時間に合わせて、その会場に来ていただけるようで、多くの方が利用されているということです。

また、移動スーパー以外にも、生協やネットスーパーでは自宅まで注文した品物を届けていただくことも可能です。生協につきましては、市内で3つの生協を利用することができ、それぞれ年齢や家族構成により配送料が割引になったり、注文用紙の書き方を手伝ってくれたりと特徴があるようです。

詳細についてお聞きになりたい場合はお手数ですが、長寿介護課地域支援係(95-0191)までお問合せいただければと思います。

□子育てに対する市の取組みを教えてください。他市と違う何か特別な施策はありますか。

■「子どもを生み育てるなら、知立」と言っていたらいいように、様々な事業に取り組んでいます。

まずは、「にじいろニコニコ事業」と銘打っての切れ目の無い子育て支援です。こんにちは赤ちゃん訪問や産後ケア支援、1歳6か月検診時のプレイウッド、また、3、4か月検診時のブックスタートなど、切れ目ない支援を行っております。

また、学校教育にも力を入れています。

知立市では、先生方が子供たち一人ひとりに、目が行き届きやすい環境づくりのひとつとして、小学校全学年に35人数学級を導入しています。また、小中学校全校に、サポート教員を配置しています。

子どもたちの放課後における安心安全な居場所づくりとして、7つの小学校区全てに放課後子ども教室と放課後児童クラブを設置しているほか、定期的に市の学校教育課、子ども課、健康増進課、県の児童相談所、警察関係者などの方が集まっての要保護ネットワーク会議を開催し、子どもたちの家庭における虐待被害の早期発見などに努めています。

また、中学生の皆様方が市議会議員の立場になっていただき、市に提言などしていただく子ども議会を毎年開催し、子どもの視点に立ったまちづくりにも努めているところであります。過去には、ちりゅっぴの誕生も子ども議会がきっかけでありましたし、子ども110番の家の設置もそうであります。

今後も、子どもの視点に立ったまちづくりにも取り組んでまいります。

なお、子ども支援に関する様々な取り組みにつきましては、どなたでも持っていただけたらよい、子育て支援センターなどに「ちりゅうし子育てガイドブック」を置いています。中には「子育てカレンダー」を掲載し、妊娠中、赤ちゃん誕生、生後1か月頃、生後3~4か月頃など、時系列的にその取り組みなどを掲載しているほか、保育園や医療機関、公園はどこにあるのか、子育てに不安を感じたらどうすれば良いのか、などを分かり易く掲載していますのでご覧いただければと思います。

また、知立市ホームページの初期画面においても、「知立市子育て情報ページ」を掲載しており、ニーズに応じた情報を比較的迅速に探すことが出来るものと思います。

この画面は、ツイッターからでも、知立市ホームページを介し、閲覧することができますので、ぜひご覧いただければと思います。

□知立駅周辺の再開発には賛成していますが、大きいビルが建ったことによって強風の日には大きな音が聞こえるようになってしまいました。周辺住民への配慮も忘れないでほしいです。

■引き続き聞こえるということであれば、環境課へご住所や騒音の内容等をお知らせいただきましたら、担当者が現地を確認しに参りますので、ご検討いただけますようお願いいたします。